

新旧対照表

大分県土木工事検査必携

令和4年10月

大 分 県

現行【R3.10】

改訂【R4.10】

編	節	章	枝番	工 種	検 査 項 目	規 格 値	検 査 箇 所		備 考		
							割 合	最 少 箇 所 数			
3	2	3	4	矢板工(指定仮設・任意仮設は除く) (鋼矢板) (軽鋼矢板) (コウゲル矢板) (広幅鋼矢板) (可とう鋼矢板)	基 準 高 ∇	± 50	随 時	随 時	実測不能の場合は 管理資料により判定		
					根 入 長	設計値以上					
					変 位 ϕ	100					
					延 長 長 L	-200					
				5	緑石工 (緑石、アスカフ)	延 長 長 L	-200	随 時	1	管理資料により確認	
				6	小型標識工	設 置 高 さ H	設計値以上	随 時	全 項 目 共 1	管理資料により確認	
				基 幅 w(D)	-30						
				高 さ h	-30						
				7	防止柵工 (立入防止柵) (転落(横断)防止柵) (車止めポスト)	礎 根入れ長	設計値以上	随 時	全 項 目 共 1	管理資料により確認	
				基 幅 w	-30						
				礎 高 さ h	-30						
				8	1	路側防護柵工 (ガードレール)	パイプ取付高 H	+30 -20	随 時	全 項 目 共 1	管理資料により確認
				基 幅 w	-30						
				礎 高 さ h	-30						
				8	2	路側防護柵工 (ガードケープル)	ビーム取付高 H	+30 -20	随 時	全 項 目 共 1	管理資料により確認
基 幅 w	-30										
礎 高 さ h	-30										
9	区画線工	厚 容 融 式 の み	設計値以上	随 時	全 項 目 共 1	管理資料により確認					
幅 W	設計値以上										
10	道路付属物工 (視認誘導標) (経路標)	高 さ h	± 30	随 時	1	管理資料により確認					
11	コンクリート面塗装工	塗 膜 厚	a. ロット総膜厚 平均値は、目 標準膜厚の90 %以上。 b. ロット総膜厚 最小値は、目 標準膜厚の70 %以上。 c. 測定値の分布 の標準偏差は、 目標準膜厚の20% を超えない。 ただし、測定 値が平均値が 目標準膜厚 合計値より大 きな場合はこ の限りでない。	1ロット当たり測定数は6点以上 (1ロットは5.00m ²)	管理資料により確認						
12	1	フレアッション桁製作工 (購入工) (けた橋)	桁 長 L (m)	$\pm L/1000$	随 時	随 時	管理資料により確認				
断 面 の 外 形 寸 法	± 5										
橋 桁 の そ り δ_1	± 8										
12	2	フレアッション桁製作工 (購入工) (スラブ桁)	横 方 向 の 曲 が り δ_2	± 10	随 時	随 時	管理資料により確認				
桁 長 L (m)	$\pm 10 \dots L \leq 10m$ $\pm L/1000 \dots$ $L > 10m$										
断 面 の 外 形 寸 法	± 5										
13	1	ボストンション桁製作工	橋 桁 の そ り δ_1	± 8	随 時	随 時	管理資料により確認				
横 方 向 の 曲 が り δ_2	± 10										
幅 (上) w_1	+10 -5										
幅 (下) w_2	± 5	随 時	随 時	管理資料により確認							
高 さ h	+10 -5										
桁 支 間 長 ϕ	$\phi < 15 \dots \pm 10$ $\phi \geq 15 \dots \pm (4-5)$ かつ -30mm以内										
横 方 向 最 大 タワミ	0.8 ϕ										

編	節	章	枝番	工 種	検 査 項 目	規 格 値	検 査 箇 所		備 考		
							割 合	最 少 箇 所 数			
3	2	3	4	矢板工(指定仮設・任意仮設は除く) (鋼矢板) (軽鋼矢板) (コウゲル矢板) (広幅鋼矢板) (可とう鋼矢板)	基 準 高 ∇	± 50	随 時	随 時	実測不能の場合は 管理資料により判定		
					根 入 長	設計値以上					
					変 位 ϕ	100					
					延 長 長 L	-200					
				5	緑石工 (緑石、アスカフ)	延 長 長 L	-200	随 時	1	管理資料により確認	
				6	小型標識工	設 置 高 さ H	設計値以上	随 時	全 項 目 共 1	管理資料により確認	
				基 幅 w(D)	-30						
				高 さ h	-30						
				7	防止柵工 (立入防止柵) (転落(横断)防止柵) (車止めポスト)	礎 根入れ長	設計値以上	随 時	全 項 目 共 1	管理資料により確認	
				基 幅 w	-30						
				礎 高 さ h	-30						
				8	1	路側防護柵工 (ガードレール)	パイプ取付高 H	+30 -20	随 時	全 項 目 共 1	管理資料により確認
				基 幅 w	-30						
				礎 高 さ h	-30						
				8	2	路側防護柵工 (ガードケープル)	ビーム取付高 H	+30 -20	随 時	全 項 目 共 1	管理資料により確認
基 幅 w	-30										
礎 高 さ h	-30										
9	区画線工	厚 容 融 式 の み	設計値以上	随 時	全 項 目 共 1	管理資料により確認					
幅 W	設計値以上										
10	道路付属物工 (視認誘導標) (経路標)	高 さ h	± 30	随 時	1	管理資料により確認					
11	コンクリート面塗装工	塗 装 使 用 量	舗道路橋防食使 量Ⅱ-82「表- Ⅱ.5.5各塗料の標 準使用量と標準膜 厚」の標準使用量 以上	随 時	随 時	管理資料により確認					
12	1	フレアッション桁製作工 (購入工) (けた橋)	桁 長 L (m)	$\pm L/1000$	随 時	随 時	管理資料により確認				
断 面 の 外 形 寸 法	± 5										
橋 桁 の そ り δ_1	± 8										
12	2	フレアッション桁製作工 (購入工) (スラブ桁)	横 方 向 の 曲 が り δ_2	± 10	随 時	随 時	管理資料により確認				
桁 長 L (m)	$\pm 10 \dots L \leq 10m$ $\pm L/1000 \dots$ $L > 10m$										
断 面 の 外 形 寸 法	± 5										
13	1	ボストンション桁製作工	橋 桁 の そ り δ_1	± 8	随 時	随 時	管理資料により確認				
横 方 向 の 曲 が り δ_2	± 10										
幅 (上) w_1	+10 -5										
幅 (下) w_2	± 5	随 時	随 時	管理資料により確認							
高 さ h	+10 -5										
桁 支 間 長 ϕ	$\phi < 15 \dots \pm 10$ $\phi \geq 15 \dots \pm (4-5)$ かつ -30mm以内										
横 方 向 最 大 タワミ	0.8 ϕ										

現行【R3.10】

改訂【R4.10】

編	節	章	条	技	種	工	種	検	査	項	目	規	格	検		備																				
														査	所																					
													割	合	最	少	箇	所	数	備																
3	土木	工	事	共	通	現	場	塗	装	工	塗	膜	厚	a. ロットの塗膜厚平均値は、目標塗膜厚合計値の90%以上。 b. 測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の70%以上。 c. 測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の20%以下。ただし、測定値の平均値が目標塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。	1ロット当たり測定数は1.2点以上 (1ロットは2.00m ² ~5.00m ²)		管理資料により確認																			
															1	一般事項 (切込砂利) (砕石基礎工) (削栗石基礎工) (均しコンクリート)	幅	W	設計値以上	随	時	随	時	実測不能の場合は 管理資料により判定												
															厚さ t ₁ 、t ₂	-30																				
															3	1	基礎工(護岸) (現場打)	基準高	▽	±30	随	時	随	時	管理資料により確認 B試験随時											
																										幅	W	-30								
																										高さ	h	-30								
																										延長	L	-200								
															3	2	基礎工(護岸) (プレキャスト)	基準高	▽	±30	随	時	随	時	管理資料により確認											
																										延長	L	-200								
															4	1	既製杭工 (コナート杭) (鋼管杭) (H鋼杭)	基準高	▽	±50	随	時	随	時	実測不能の場合は 管理資料により判定											
																										根入	長	設計値以上								
																										偏心量	d	D/4以内かつ 100以内								
																										傾	斜	1/100以内								
																										4	2	既製杭工 (鋼管ソイルセメント杭)	基準高	▽	±50	随	時	随	時	実測不能の場合は 管理資料により判定
															偏心量	d	100以内																			
															傾	斜	1/100以内																			
															5	場所打杭工	基準高	▽	±50	随	時	随	時	実測不能の場合は 管理資料により判定												
																									根入	長	設計値以上									
																									偏心量	d	100以内									
傾	斜	1/100以内																																		
杭	径	設計径 (公称径)-30以上																																		
6	深礎工	基準高	▽	±50	随	時	随	時	実測不能の場合は 管理資料により判定																											
										根入	長	設計値以上																								
										偏心量	d	150以内																								
										傾	斜	1/50以内																								
										基礎	径	D	設計径 (公称径)以上※																							
7	オープンケーソン基礎工	基準高	▽	±100	各	打	設	ロ	ット	ごと	管理資料により確認																									
												ケーソンの長さ	ℓ	-50																						
												ケーソンの幅	w	-50																						
												ケーソンの高さ	h	-100																						
												ケーソンの壁厚	t	-20																						
												偏心量	d	300以内																						

編	節	章	条	技	種	工	種	検	査	項	目	規	格	検		備																				
														査	所																					
													割	合	最	少	箇	所	数	備																
3	土木	工	事	共	通	現	場	塗	装	工	塗	膜	厚	a. ロットの塗膜厚平均値は、目標塗膜厚合計値の90%以上。 b. 測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の70%以上。 c. 測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の20%以下。ただし、測定値の平均値が目標塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。	1ロット当たり測定数は1.2点以上 (1ロットは2.00m ² ~5.00m ²)		管理資料により確認																			
															1	一般事項 (切込砂利) (砕石基礎工) (削栗石基礎工) (均しコンクリート)	幅	W	設計値以上	随	時	随	時	実測不能の場合は 管理資料により判定												
															厚さ t ₁ 、t ₂	-30																				
															3	1	基礎工(護岸) (現場打)	基準高	▽	±30	随	時	随	時	管理資料により確認 B試験随時											
																										幅	W	-30								
																										高さ	h	-30								
																										延長	L	-200								
															3	2	基礎工(護岸) (プレキャスト)	基準高	▽	±30	随	時	随	時	管理資料により確認											
																										延長	L	-200								
															4	1	既製杭工 (コナート杭) (鋼管杭) (H鋼杭)	基準高	▽	±50	随	時	随	時	実測不能の場合は 管理資料により判定											
																										根入	長	設計値以上								
																										偏心量	d	D/4以内かつ 100以内								
																										傾	斜	1/100以内								
																										4	2	既製杭工 (鋼管ソイルセメント杭)	基準高	▽	±50	随	時	随	時	実測不能の場合は 管理資料により判定
															偏心量	d	D/4以内かつ 100以内																			
															傾	斜	1/100以内																			
															杭	径	D	設計径以上																		
															5	場所打杭工	基準高	▽	±50	随	時	随	時	実測不能の場合は 管理資料により判定												
																									根入	長	設計値以上									
偏心量	d	100以内																																		
傾	斜	1/100以内																																		
杭	径	設計径 (公称径)-30以上																																		
6	深礎工	基準高	▽	±50	随	時	随	時	実測不能の場合は 管理資料により判定																											
										根入	長	設計値以上																								
										偏心量	d	150以内																								
										傾	斜	1/50以内																								
										基礎	径	D	設計径 (公称径)以上※																							
7	オープンケーソン基礎工	基準高	▽	±100	各	打	設	ロ	ット	ごと	管理資料により確認																									
												ケーソンの長さ	ℓ	-50																						
												ケーソンの幅	w	-50																						
												ケーソンの高さ	h	-100																						
												ケーソンの壁厚	t	-20																						
												偏心量	d	300以内																						

現行【R3.10】

編 号	章	節	条	枝 番	工 種	検 査 項 目	規 格 値			検 査 箇 所		備 考
							個々の測定値(X)		10個の測定値の平均(X ₁₀)	割 合	最 少 箇 所 数	
							中規模以上	小規模以下	中規模以上			
10 道 路 編 号	2 舗 装 工	4 舗 装 工	5		歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	基準高▽	±50	—	随 時 歩道路盤工のみ 1/200m	全 項 目 共 3	管理資料により確認	
						厚さ t<15cm	-30	-10				
						厚さ t≧15cm	-45	15				
						幅 w	-100	—				
歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工	厚さ	-9	-3	随 時 歩道路盤工のみ 1/200m	全 項 目 共 3	管理資料により確認						
	幅	-25	—									

編 号	章	節	条	枝 番	工 種	検 査 項 目	規 格 値		検 査 箇 所		備 考
							個々の測定値 ■	測定値の平均	割 合	最 少 箇 所 数	
10 道 路 編 号	4 舗 装 工	5	5		切削オーバーレイ工	厚さt (切削)	-7	-2	随 時	全 項 目 共 3	管理資料により確認
						厚さt (オーバーレイ)	-9				
						幅 w	-25				
						延長 L	-100				
						平坦性	—	3mプロファイル (σ)2.4mm以下 直線式(足付き) (σ)1.75mm以下			

改訂【R4.10】

編 号	章	節	条	枝 番	工 種	検 査 項 目	規 格 値			検 査 箇 所		備 考
							個々の測定値(X)		10個の測定値の平均(X ₁₀)	割 合	最 少 箇 所 数	
							中規模以上	小規模以下	中規模以上			
10 道 路 編 号	2 舗 装 工	4 舗 装 工	5		歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	基準高▽	±50	—	随 時 歩道路盤工のみ 1/200m	全 項 目 共 3	管理資料により確認	
						厚さ t<15cm	-30	-10				
						厚さ t≧15cm	-45	15				
						幅 w	-100	—				
歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工	厚さ	-9	-3	随 時 歩道路盤工のみ 1/200m	全 項 目 共 3	管理資料により確認						
	幅	-25	—									

編 号	章	節	条	枝 番	工 種	検 査 項 目	規 格 値		検 査 箇 所		備 考		
							個々の測定値 (X)	測定値の平均 ■	割 合	最 少 箇 所 数			
10 道 路 編 号	4 舗 装 工	5	5	1	切削オーバーレイ工	厚さt (切削)	-7	-2	随 時	全 項 目 共 3	管理資料により確認		
						厚さt (オーバーレイ)	-9						
						幅 w	-25						
						延長 L	-100						
						平坦性	—	3mプロファイル (σ)2.4mm以下 直線式(足付き) (σ)1.75mm以下					
						厚さt (標準較差) (切削)	-17 (17)	-2 (2)				1 工 事 に つ き 1 断 面	管理資料により確認
						厚さt (オーバーレイ)	-9						
						幅 w	-25						
						延長 L	-100						
						平坦性	—	3mプロファイル (σ)2.4mm以下 直線式(足付き) (σ)1.75mm以下					

現行【R3.10】

改訂【R4.10】

編	章	節	条	技 術	工 種	検 査 項 目	規 格 値	検 査 箇 所		備 考
								割 合	最 少 箇 所 数	
11	農 業 農 村 整 備 工 事	2	3	1	整地工	表土扱い	厚 さ (T)	-20%		原則として実測、場合により管理資料による。
						基準造成 表土整地	基 準 高 (V)	±150	・基準高、均平度は、1ha当たりおおむね3点測定する。	原則として実測、場合により管理資料による。
							均 平 度 (△)	±50		
		畦畔復旧	幅 (B)	-50	・幅、高さは、施工延長おおむね2,000mにつき1箇所以上測定する。	原則として実測、場合により管理資料による。				
			高 さ (H)	-50						
		4	暗渠排水工	吸水渠	布 設 深 (H)	-75	・布設深、間隔は、おおむね10本につき1本の割合で次により測定する。	原則として実測、場合により管理資料による。		
					間 隔 (B)	±750	・上、下流端の2箇所。ただし、1本の布設長おおむね100m以上のときは、中間点を加えた3箇所を測定する。			
					延 長 L	500m未満 500m以上	-1000 -0.2%			
		集水渠(支線) 導水渠(幹線)	布 設 深 (H)	-75	・布設深は、施工延長おおむね500mにつき1箇所以上測定する。	原則として実測、場合により管理資料による。				
			延 長 L	500m未満 500m以上	-1000 -0.2%					
			延 長 L	500m以上	-0.2%					
7	道 路 工 (砂利道)	幅 (B)	-150	・幅、厚さは、幹線道路は施工延長500mにつき1箇所以上測定する。 ・支線道路は、施工延長おおむね2,000mにつき1箇所以上測定する。	原則として実測、場合により管理資料による。					
			厚 さ (T)			-45				
			延 長 L			200m未満 200m以上	-400 -0.2%			
3	農 用 地 造 成 工 事	1	1	耕起深耕	耕 起 深 (T)	-75	・耕起深は、おおむね1ha当たり1箇所の割合で測定する。	原則として実測、場合により管理資料による。		
					果 樹	-75				
						野 菜	-15			
		テラス (階段畑)	幅 (B1)	-150	・幅、耕起幅、側溝幅、側溝高さ、法勾配は、テラス延長おおむね1,000m当たり1箇所以上測定する。	原則として実測、場合により管理資料による。				
			耕 起 幅 (B2)	-150						
			側 溝 幅 (B3)	-75						
			側 溝 高 さ (H)	-75						
		土壌改良	pH 測 定	±0.5	・pH測定は、おおむね10ha当たり1箇所の割合で測定する。	原則として実測、場合により管理資料による。				
		改良山成	基 準 高 (V)	±300	・基準高は、おおむね1ha当たり1箇所の割合で測定する。 ・法勾配は、おおむね1,000m当たり1箇所の割合で測定する。 ・切土部のみ対象とする。	原則として実測、場合により管理資料による。				
		6	道 路 工 (耕作道)	幅 (B1)	-150	・幅、厚さ、側溝幅、側溝高さは、施工延長おおむね1,000m当たり1箇所以上測定する。	原則として実測、場合により管理資料による。			
				厚 さ (T)	-45					
側 溝 幅 (B3)	-75									
側 溝 高 さ (H)	-75									
	5	ト ン ネ ル 工 事	1	支保工	幅 (b)	-0	・幅、間隔は、随時測定する。	原則として実測、場合により管理資料による。		
					(C、D タイプ)	-40				
間 隔 (ℓ)					±75					
2	コ ン ク リ ー ト 覆 工	基準高(V)	±50	・基準高、幅、高さは、施工延長100m~200mに1箇所以上測定する。 ただし、施工延長100m未満は2箇所する。	原則として実測、場合により管理資料による。					
			幅 (B)			-40				
			巻 厚 (T)			-0				
		高 さ (H)	-40	・巻厚、中心線のズレは、随時測定する。	・必要に応じてB試験する。					
			中心線のズレ(e)	直 線 部 ±100 曲 線 部 ±150						
		延 長 L	150m未満	-150	・必要に応じてB試験する。					
			150m以上	-0.1%						
		6	水 路 工 事	2	現場打開水路	基 準 高 (V)	±30	・基準高、幅、高さは、施工延長100m~200mに1箇所以上測定する。 ただし、施工延長100m未満は2箇所する。 ・中心線のズレは、随時測定する。 ・スパンの標準9mとした場合。	原則として実測、場合により管理資料による。	
						幅 (B)	-25			
						厚 さ (T)	-20			
						高 さ (H)	-25			
中心線のズレ(e)	直 線 部 ±50 曲 線 部 ±100									
	スパン長(L)					直 線 部 ±20 曲 線 部 ±30				
延 長 L	150m未満					-150				
	150m以上					-0.1%				

編	章	節	条	技 術	工 種	検 査 項 目	規 格 値	検 査 箇 所		備 考
								割 合	最 少 箇 所 数	
11	農 業 農 村 整 備 工 事	2	3	1	整地工	表土扱い	厚 さ (T)	-20%		原則として実測、場合により管理資料による。
						基準造成 表土整地	基 準 高 (V)	±150	・基準高、均平度は、1ha当たりおおむね3点測定する。	原則として実測、場合により管理資料による。
							均 平 度 (△)	±50		
		畦畔復旧	幅 (B)	±50	1工事につき1断面	管理資料により確認。				
			標高格差(個々の計測値)	±150						
		4	暗渠排水工	吸水渠	幅 (B)	-50	・幅、高さは、施工延長おおむね2,000mにつき1箇所以上測定する。	原則として実測、場合により管理資料による。		
					高 さ (H)	-50				
					布 設 深 (H)	-75				
		間 隔 (B)	±750	・布設深、間隔は、おおむね10本につき1本の割合で次により測定する。	原則として実測、場合により管理資料による。					
			延 長 L	500m未満 500m以上		-1000 -0.2%				
			延 長 L	500m以上		-0.2%				
集水渠(支線) 導水渠(幹線)	布 設 深 (H)	-75	・布設深は、施工延長おおむね500mにつき1箇所以上測定する。	原則として実測、場合により管理資料による。						
	延 長 L	500m未満 500m以上	-1000 -0.2%							
	延 長 L	500m以上	-0.2%							
7	道 路 工 (砂利道)	幅 (B)	-150	・幅、厚さは、幹線道路は施工延長500mにつき1箇所以上測定する。 ・支線道路は、施工延長おおむね2,000mにつき1箇所以上測定する。	原則として実測、場合により管理資料による。					
			厚 さ (T)			-45				
			延 長 L			200m未満 200m以上	-400 -0.2%			
3	農 用 地 造 成 工 事	1	1	耕起深耕	耕 起 深 (T)	-75	・耕起深は、おおむね1ha当たり1箇所の割合で測定する。	原則として実測、場合により管理資料による。		
					果 樹	-75				
						野 菜	-15			
		テラス (階段畑)	幅 (B1)	-150	・幅、耕起幅、側溝幅、側溝高さ、法勾配は、テラス延長おおむね1,000m当たり1箇所以上測定する。	原則として実測、場合により管理資料による。				
			耕 起 幅 (B2)	-150						
			側 溝 幅 (B3)	-75						
			側 溝 高 さ (H)	-75						
		土壌改良	pH 測 定	±0.5	・pH測定は、おおむね10ha当たり1箇所の割合で測定する。	原則として実測、場合により管理資料による。				
		改良山成	基 準 高 (V)	±300	・基準高は、おおむね1ha当たり1箇所の割合で測定する。 ・法勾配は、おおむね1,000m当たり1箇所の割合で測定する。 ・切土部のみ対象とする。	原則として実測、場合により管理資料による。				
		6	道 路 工 (耕作道)	幅 (B1)	-150	・幅、厚さ、側溝幅、側溝高さは、施工延長おおむね1,000m当たり1箇所以上測定する。	原則として実測、場合により管理資料による。			
				厚 さ (T)	-45					
側 溝 幅 (B3)	-75									
側 溝 高 さ (H)	-75									
	5	ト ン ネ ル 工 事	1	支保工	幅 (b)	-0	・幅、間隔は、随時測定する。	原則として実測、場合により管理資料による。		
					(C、D タイプ)	-40				
間 隔 (ℓ)					±75					
2	コ ン ク リ ー ト 覆 工	基準高(V)	±50	・基準高、幅、高さは、施工延長100m~200mに1箇所以上測定する。 ただし、施工延長100m未満は2箇所する。	原則として実測、場合により管理資料による。					
			幅 (B)			-40				
			巻 厚 (T)			-0				
		高 さ (H)	-40	・巻厚、中心線のズレは、随時測定する。	・必要に応じてB試験する。					
			中心線のズレ(e)	直 線 部 ±100 曲 線 部 ±150						
		延 長 L	150m未満	-150	・必要に応じてB試験する。					
			150m以上	-0.1%						
		6	水 路 工 事	2	現場打開水路	基 準 高 (V)	±30	・基準高、幅、高さは、施工延長100m~200mに1箇所以上測定する。 ただし、施工延長100m未満は2箇所する。 ・中心線のズレは、随時測定する。 ・スパンの標準9mとした場合。	原則として実測、場合により管理資料による。	
						幅 (B)	-25			
						厚 さ (T)	-20			
						高 さ (H)	-25			
中心線のズレ(e)	直 線 部 ±50 曲 線 部 ±100									
	スパン長(L)					直 線 部 ±20 曲 線 部 ±30				
延 長 L	150m未満					-150				
	150m以上					-0.1%				